

ホタル鑑賞のご案内

夏の風物詩ホタルの鑑賞会を行います。暑い夜の暗闇の中、光を放ちながら飛び交うヘイケボタルの生息地にご案内します。2001年にはじめた里山づくりも25年目を迎え、童謡の唱が聴こえる里山づくりの「ホーホーほたるこいプロジェクト」の成果で少しずつ増え、里山の水辺一帯に自然繁殖するようになり、ハサンベツ里山は石狩低地帯では有数のヘイケボタル生息地になりました。各地の生息地が消滅していく中で、これはすごいことであり、町の財産として、大切にしなければなりません。まだ見られていない皆さん。ホタルの乱舞をぜひ見に来て下さい。

ホタルは日没とともに、草の茎を伝って光りながら上に登ってきて、やがて飛び交いながら光の交信をします。ご家族連れでぜひ訪れ下さい。

日時 **7月13日(日)～15日(火)**

午後7時30分～8時30分

場所 **ハサンベツ里山地** (桜丘3丁目)

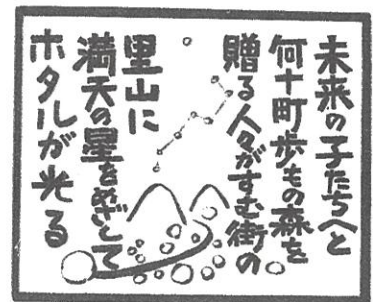
※ 集合場所～大看板前、里山の恵み交流館「納屋」

※ 駐車場所～大看板前駐車場等をご利用下さい。

主催 栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会

共催 栗山オオムラサキの会 NPO法人雨煙別学校 葉散別倶楽部

問い合わせ 栗山町教育委員会社会教育課 (TEL 0123-72-1117)



土壁の物置小屋(収蔵庫)の復元に挑戦!!

里山の恵み交流館「納屋」の隣に残っている土壁の物置ですが、かつてここで農業をやられていた林原さんが、戦後、自力で建てられたものですが、壁は地先の粘土と切った稲わらを混ぜて中敷きに使った根間刈り竹を被覆し手作業で建てられたものです。土壁の建物はほとんど残されていませんが、ただ壊すのは勿体なく逡巡していたところ、「やり方を知っている」方と出会い指導をお願いし快諾いただきました。左官屋さんになった気分粘土をこね、左官でこで壁に擦り付けみんなで完成させます。この技術伝承を兼ね、子どもたちにも壁塗りに参加してもらいます。ぜひ、参加したい方、興味がある方、土壁づくりのやり方をご存じの方、ご連絡下さい。

神様トンボ(オツネントンボ)やエルタテハ・ヒオドシチョウなどのチョウなどの生きものたちが冬越しできる隙間のある越冬場所も工夫して作ってやりたいと思っています。

建設は今年の7月から10月末の間で行います。建設にかかる経費はカンパや民間の助成金を申請し、それに充当します。

問い合わせ先 里山の恵み交流館「納屋」 090-4740-7775 (入倉英茂)

090-9520-2715 (高橋 慎) まで